

子宮頸がん予防&ヒブ&小児用肺炎球菌ワクチン 予防接種の助成が始まりました！

○子宮頸がん予防ワクチン（ヒトパピローマウイルスワクチン）

対象：中学1年生～高校1年生に相当する女性

○ヒブワクチン（ヘモフィルスインフルエンザ菌b型ワクチン）

対象：生後2か月～5歳未満

○小児用肺炎球菌ワクチン

対象：生後2か月～5歳未満

*保健福祉課へ**事前に申請**が必要です。

*平成23年1月17日（月）以降、接種した方が対象となります。

*町で指定した医療機関での接種となります。

【指定医療機関】

☆矢野医院（成田市）

☎ 0476-96-0071

☆島崎医院（香取市）

☎ 55-1221

☆なのはなクリニック（成田市）

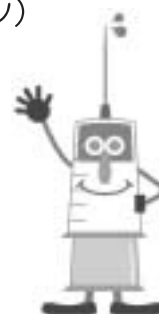
☎ 0476-49-0533

☆越川クリニック（香取市）

☎ 55-8030

☆神崎クリニック ☎ 0476-3177（注：子宮頸がん予防ワクチンのみ）

詳しくは、保健福祉課（☎ 0476-1603）にお問い合わせください。



国保・高齢者医療だより

ジェネリック医薬品を

活用しましょう

●ジェネリック医薬品って どんな薬？

先発医薬品の製造には、長い開発期間と数百億円以上もの開発費用がかかります。これに対し、ジェネリック医薬品は、先発医薬品の特許期間（20年から25年）が切れた後、他のメーカーによって同じ成分で製造・販売された薬です。このため、先発医薬品の3〜7割の価格と安価になっていますが、効果は同等です。欧米では、処方薬全体の6割がジェネリック医薬品とされています。

●どんなメリットがあるの？

価格が先発医薬品の3〜7割となるため、家庭での薬代の負担が減ります。特に慢性的な病気などは長期にわたって薬を服用すること

となりますので、薬代が高くなるため、通院や服用をやめてしまう人がいますが、ジェネリック医薬品なら低価格であるため、治療を無理なく続けることができます。もちろん、日本全体で増え続ける医療費も、減らすことができます。

●ジェネリック医薬品に 変えるにはどうしたら いいの？

まずは、かかりつけの医師や薬剤師に相談してください。医師の処方箋に「ジェネリック医薬品への変更不可」とする署名がないときは、薬局で患者の選択により、ジェネリック医薬品に変更することができます。医師や薬剤師に「ジェネリックを希望します」と伝えましょう。

☎ 0476-21113
問合せ 町民課国保年金係

平成22年度神崎町入札結果の公表

平成22年12月17日、28日に執行した指名競争入札の結果は次のとおりです。

入札日	名称等	落札金額(税込)	落札者名	工期
12.17	(仮称)神崎IC周辺地域整備計画業務委託(道路概略設計)	3,570,000円	株式会社協和コンサルタンツ	平成22年12月18日から平成23年3月25日まで
12.17	町道本宿並木小松線局部改良舗装工事(並木地先)	5,302,500円	大利根建設株式会社	平成22年12月18日から平成23年3月13日まで
12.17	町道新町24号・新町松崎線排水整備工事(神宿地先)	15,435,000円	有限会社宮田工務店	平成22年12月18日から平成23年3月15日まで
12.28	町道武田古原線道路改良工事(古原地先)	21,997,500円	椿建設株式会社	平成22年12月29日から平成23年3月25日まで